

幼稚園・保育所で経験してきたこと

- ・パス、水性ペン、絵筆、鉛筆など、自由に使って遊ぶことを通して、表現したい内容に適した物を選んで使おうとするようになっている。
- ・年長児になると、細かい部分の表現をしようとする子が増えるので、色鉛筆、鉛筆など線を表すのに適した物を使い、小学校につながることを意識した指導をしている。
- ・日常生活の中で、文字に対する興味や関心、感覚が養われるよう、絵本の読み聞かせや絵本の貸し出しを行っている。また、平仮名 50 音表をはじめ、絵と文字で表示する掲示物を作ったり、言葉遊び（しりとり・頭字遊び、言葉集め・なぞなぞ・カルタ）を行ったりして、ごっこ遊びの中で、文字を記号的な感覚で遊びに取り入れられる指導が、日常的に行われている。

接続を踏まえた指導の工夫

- ・「自分の名前を書こう」では机に貼られた自分の名前をお手本にしながら、筆圧が弱くても書け、幼児期に慣れ親しんでいるパスを使って、大きく名前を書かせるようにする。
- ・文字指導の前に、正しい姿勢、正しい持ち方を写真や図を見せながら、丁寧に指導し、鉛筆で書くことに慣れるよう、いろいろな線のお稽古を取り入れる。ひらがな 50 音表を掲示し、習った文字を使った言葉集めなどをしながら、平仮名に興味をもてるようにする。

学習活動例

小単元名：「自分の名前を書こう」

指導時数

【書く】2 / 3 時間扱い

ねらい ・自分の名前を大きく、丁寧に書く。

時間	コマ	学 習 活 動	○配慮事項 ☆他教科等との関連★幼児教育との関連
2/3	1	1 自分の名前を書くことを知り、書く時に気を付けることを知る。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・紙の中いっぱい大きく、丁寧に書く。</li> <li>・縦書きと横書きを書く。</li> <li>・パスの好きな色で書く。</li> </ul>	<div>国語 1 【5 日目】</div> ○画用紙に「はじめてかいたなまえ かいた日 4 がつ〇にち」と入れた名前を書く用紙を用意しておく。（縦書き用と横書き用） ○用紙は多めに用意しておく。 ★慣れ親しんでいるパスを使用し、筆圧が弱くとも書くことができるようにする。 ○パスの目立たない色（黄色、肌色等）は除く。 ○紙の中いっぱい大きく、丁寧に書く。 ○机にはってある名札の文字を見て、まねをしながら書くことができるようにする。 ★名前は、興味をもって自分で書くことができる。 ○書いた名前は「初めて書いた名前 4 月〇日」として掲示する。
	2	2 用紙に書く。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・だいたい位置を手で書いてから書く。</li> <li>・縦書きと横書きを書く。</li> <li>・大きく、丁寧に書く。</li> </ul>	

# 国語科

小単元名 「鉛筆を持って書こう」  
指導時数 【書く】 1時間扱い

- ねらい
- ・書く時のよい姿勢を知り、よい姿勢で書く。
  - ・鉛筆のよい持ち方を知り、いろいろな線を書く。

## 学習活動例

時間	学 習 活 動	○配慮事項 ☆他教科等との関連★幼児教育との関連
1	<p>1 書く時のよい姿勢を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「足はペッタン、背中はピン、お腹と背中にグーひとつ、左手（右手）置いて、サー書こう」</li> </ul> <p>2 鉛筆のよい持ち方を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ノートの置き方や左手（右手）の置き方を知る。</li> </ul> <p>3 いろいろな線をなぞる。</p> <p>①直線（たて、横、斜め、ジグザグなど）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指でなぞってから鉛筆でなぞる。</li> <li>・書く前に姿勢の唱え歌に合わせて、よい姿勢をして鉛筆の持ち方を確認してから書く。</li> </ul> <p>②曲線（うずまき、らせん、など）</p> <p>③形（山の形、三角形、四角形） 絵（簡単な動物の絵など）</p>	<div>国語 2 【6日目】</div> <p>○写真や図を見せて、よい姿勢を教える。（常掲）</p> <p>★分かりやすい唱え歌を教えて、書く前に言わせるとよい。</p> <p>その他の唱え歌「グー、ピタ、ピン」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*グー（机と背中げんこつ1つ分あける。）</li> <li>*ピタ（両足を床につける）</li> <li>*ピン（背筋を伸ばす）</li> </ul> <p>○写真や図を見せて、鉛筆のよい持ち方を教える。（常掲）</p> <p>★最初は文字ではなく、線をなぞることで、正しい持ち方で、適度な筆圧で書く練習が容易にできるようにする。</p> <p>○掲示物を用意して、家庭でも練習してもらう。</p> <p>○方向や書き順を入れた用紙を用意しておく。</p> <p>○よい姿勢、よい鉛筆の持ち方で書く。</p> <p>○山の形や三角形、四角形を連続させることは、終筆のはね、画の接し方や筆順に関連付けられる。</p> <p>○時々、よい姿勢、よい鉛筆の持ち方で書いているか確認する。</p>

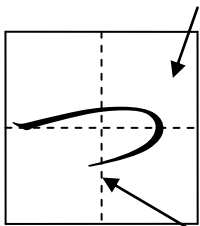
# 国語科

小单元名 「平仮名の学習「つ」（一画の文字）」  
指導時数 【書く】 1時間扱い

ねらい

- ・「つ」を読み、形に気を付けて書く。
- ・「つ」を使った言葉を集める。

## 学習活動例

時間	学 習 活 動	○配慮事項 ☆他教科等との関連★幼児教育との関連				
1	<p>1 書く時のよい姿勢をする。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・前時に学習したことを思い出させる。写真や図を見て確かめ、姿勢の唱え歌を歌いながらよい姿勢をする。</li><li>・「足はペッタン、背中はピン、お腹と背中にグーひとつ、左手（右手）置いて、サー書こう」</li><li>・「グー、ピタ、ピン」</li></ul> <p>2 鉛筆のよい持ち方をする。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・前時に学習したことを思い出すようにする。写真や図を見て確かめ、よい鉛筆の持ち方で持つ。左手（右手）を机の上に置く。</li></ul> <p>3 「つ」の書き方を知る。</p> <p>①本を見て、一ますの中のどこに書けばよいか位置を知る。</p> <p>②教員が書く手本を見る。</p> <p>③教員が黒板に書くのに合わせて、空書きする。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・始筆、まがり、はらい、終筆の位置など、どのように書くか、イメージをはっきりもたせる。</li></ul> <p>④手本をなぞる</p> <p>⑤なぞり書き用の練習文字をなぞる。</p> <p>⑥始点、終点が生じてある文字をなぞる。</p> <p>⑦十字野のあるますの中に、文字の位置、「まがり」「はらい」に気を付けて丁寧に書く。（4文字くらい）</p> <p>4 「つ」がつく言葉を考え、発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・発表するときの約束を守る。</li></ul> <div>手を挙げて、指されたら答える。</div> <p>5 「つ」がつく言葉の絵を色鉛筆でぬる。はみ出さないようにぬる。</p>	<div>国語 3 【8日目】</div> <p>○まず、よい姿勢をやらせてみる。掲示物を見たり、唱え歌を歌ったりしながら、自分の姿勢を振り返る。</p> <p>○まず、よい鉛筆の持ち方をやってみる。掲示物を見て、自分の持ち方を振り返る。</p> <p>○一ますに番号をつけて「1の部屋、2の部屋、3の部屋、4の部屋」と呼ぶことを教える。</p> <p>まがり</p> <div><table><tr><td>1</td><td>2</td></tr><tr><td>3</td><td>4</td></tr></table></div> <p>〈ますの部屋〉 はらい</p> <p>○知っている言葉を自由に出す。</p> <p>★知っている言葉を出し合うことで、文字への関心をもたせたり、文字と言語を関連させて覚えさせる手立てとしたり、語彙量を増やしたりしていく。</p> <p>○時間があれば運筆練習をさせる。色鉛筆でぬり絵をすることも、運筆練習になる。</p>	1	2	3	4
1	2					
3	4					

文字指導は、画数の少ない文字から書きにくい文字まで順に計画的に丁寧に指導する。学習方法に慣れてきたら、1時間に学習する文字数を増やしてよい。

文字指導は、画数の少ない文字から書きにくい文字まで順に計画的に丁寧に指導する。学習方法に慣れてきたら、1時間に学習する文字数を増やしてよい。